

セブン&アイ・ホールディングス、トムラ・ジャパンと共同で ペットボトルの新たな店頭回収・リサイクルシステムをグループ店舗に導入 大手小売業による初の“ペットボトル to ペットボトル”リサイクル

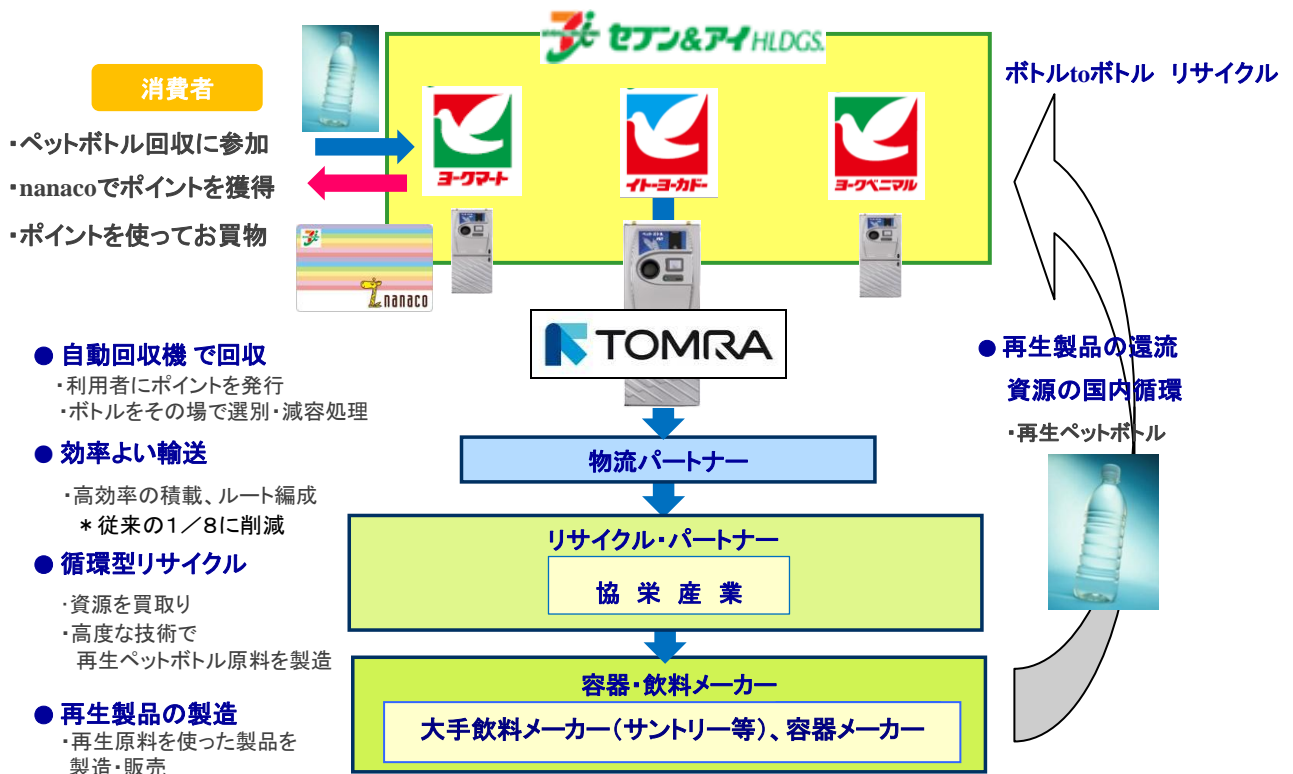
株式会社セブン&アイ・ホールディングス(東京都千代田区、代表取締役会長:鈴木 敏文)とトムラ・ジャパン株式会社(東京都大田区、代表取締役社長:ソニー ソーダバーグ)は、このたび、セブン&アイグループのイトーヨーカドー、ヨークマートの各店舗に、自動回収機を入口とした新しいペットボトルの店頭回収・リサイクルシステムを導入いたします。飲料・容器メーカーやリサイクル・物流パートナーと連動したこの“ペットボトル to ペットボトル”の循環型リサイクルは、大手小売チェーン全体での取組みとして初になります。

本年4月中にイトーヨーカドー25店、ヨークマート11店の合計36店舗に導入を開始し、2013年2月までに、上記2社の関東エリア内の全店約200店舗に拡大する予定です。さらに、グループのヨークベニマルについても、今後、導入を検討してまいります。

<新たな店頭回収・リサイクルシステムについて>

- ・大手小売業で初、飲料メーカーと連動した“ペットボトル to ペットボトル”のリサイクルシステム
- ・スーパーの店頭で自動回収機を設置。利用者に特典を発行して資源回収への参加を促進
- ・お客様にご提供するリサイクルポイントは、電子マネー「nanaco」のポイントとして交換可能
- ・自動回収機が容器をその場で選別・減容し、資源価値の高い資源を大量に回収
- ・回収した資源を効率よく輸送し、飲料メーカーと連動して国内でペットボトル容器等に再生
- ・「循環型リサイクル」の輪を構築し、スーパー店頭が核となって地域のリサイクルを推進

<新システムのスキーム>



<新システムの特長>

● 電子マネー「nanaco」との連動

セブン&アイグループの独自電子マネー「nanaco」と連動し、「nanaco」カード・モバイルを自動回収機でご利用いただくと、ペットボトル 1 本当り、2 リサイクルポイント(=0.2 円)をご提供。500 リサイクルポイントを貯めると、隣接するポイント交換端末機により、「nanaco」ポイント 50 ポイント(=50 円)と交換が可能 (ポイント交換は本年 6 月開始を予定)

● オペレーションの改善

自動回収機の設置は、通常のボックス回収に比べ店舗の負担が低減

- ・減容機能(圧縮または破砕)で、嵩張るペットボトルを回収した現場で減容。回収容器の交換作業の低減、保管場所の削減、輸送効率の向上に貢献
- ・選別機能で、異素材の容器を除去、資源物としての流通を実施

● 地域、環境貢献

今回の新システムは、店頭での回収資源を効率よく輸送し、国内で循環型リサイクルを行う一貫して行うものであり、よりいっそうの地域環境に貢献

トムラ・ジャパンはシステム全体の提案・コーディネートを行い、自動回収機、ポイントシステムを自社で開発・導入、パートナー企業とともにシステムを持続的に運用します。

資源のリサイクルは協栄産業株式会社が担当し、メカニカルリサイクルの手法でペットボトル原料を製造いたします。サントリー等の大手飲料メーカーがその原料を用いてペットボトル飲料を製造し市場に還流させます。資源の輸送については、セブン&アイグループの既存物流ルートの活用を含め、効率の高い輸送ルートづくりを工夫して運用いたします。

お客様がスーパーの店頭にお持ち込みいただいたペットボトル資源が、効率よく運ばれ、国内で循環し、再び食品容器としてお客様のもとに還ってくるこのシステムは、今後の社会システムとして注目されています。

- ・民間主導、消費者参加型の資源回収・リサイクル
- ・資源の国内循環
- ・高効率・低環境負荷の資源回収・リサイクル



<ペットボトル自動回収機>

<ご参考>

当事業はペットボトルの店頭回収モデルとして、平成 23 年度環境省支援事業への協力も行いました。

「安価で CO₂ 排出量の少ない新たなリサイクル技術を活用した、汚れの少ない廃ペットボトル回収システム構築及び再ペットボトル化ビジネス支援事業」

以上